

製品名: アンジオテンシノーゲンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86909**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:52 kDa; Observed MW:52 kDa

抗原情報

遺伝子名	Angiotensinogen
別名	AGT; ANHU; hFLT1; SERPINA8
遺伝子ID	183
SwissProt ID	P01019
免疫原	マウスアンジオテンシノーゲンの合成ペプチド

背景

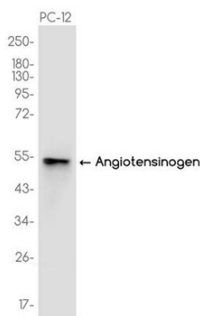
この遺伝子によってコードされるタンパク質（プレアンジオテンシノーゲンまたはアンジオテンシノーゲン前駆体）は肝臓で発現

し、血圧低下に応じて酵素レニンによって分解されます。その結果生じるアンジオテンシン I は、アンジオテンシン変換酵素 (ACE) によって分解され、生理活性酵素アンジオテンシン II を生成します。このタンパク質は血圧の維持、および本態性高血圧症や妊娠中毒症の発症に関与しています。この遺伝子の変異は本態性高血圧症の感受性に関連しており、尿細管形成不全 (尿細管の発達における重篤な障害) を引き起こす可能性があります。この遺伝子の欠陥は、非家族性構造的心房細動や炎症性腸疾患との関連も報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

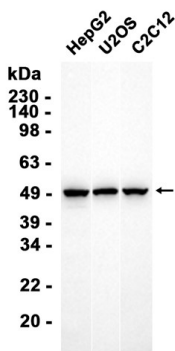
研究分野

-

画像データ



アンジオテンシノーゲンウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した PC-12 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86909 を 1:1000 で使用して HepG2、U2OS、C2C12 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。